

Olive News

オリーブ 便り



基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

【新センター始動】2026年4月、 若手医師の未来を拓く「卒後研修センター」が誕生します

香川大学医学部附属病院 卒後研修センター
安田 真之

香川大学医学部附属病院は、将来の医療人を育成する体制をさらに強化するため、2026年4月1日付で「卒後臨床研修センター」と「医師キャリア支援センター」を統合し、新たに「卒後研修センター」として再編することとなりました。

これまで、本院の医師養成は初期研修を担う「卒後臨床研修センター」と、専門研修(専攻医)以降を担う「医師キャリア支援センター」の二つの組織で支えられてきました。しかし、近年の医師臨床研修マッチング結果を見ると、地方国立大学病院における研修医の確保は依然として厳しい状況です。

実際、2026年度から医師となる医学科生を対象とした「2025年度マッチング」では、本院全体のマッチ者数は21名でした。地域医療を担う医師を継続的に教育・育成するには、本院が多くの医学生から「キャリアアップの第一歩」として選ばれ続ける、魅力的な環境を整えることが重要です。

このような状況に対応し、医学部教育から初期研修、専門研修、そして地域定着までを「一貫通貫体制」でシームレスに支えるため、組織の壁を取り払った新体制への移行が決定しました。

両センターの「強み」を融合した新センター

新たに誕生する「卒後研修センター」は、これまでの両組織が培ってきたノウハウを統合し、さらに発展させます。

旧「卒後臨床研修センター」は、「医師としてのスタートを“まんでがん”サポートする」を合言葉に、充実した研修環境を提供してきました。将来希望する診療科を早期に経験できる「オーダーメイド研修プラン」や、モーニングセミナーなどの教育機会、多職種によるきめ細やかな評価システムは、多くの研修医から高い評価を得ています。

一方、2016年に新設された「医師キャリア支援センター」は、新専門医制度に即した研修プログラムの管理や専門医取得支援、地域への医師派遣支援を担ってきました。

これらが「卒後研修センター」として一つになることで、初期研修で培ったスキルや適性をそのまま専門研修へとスムーズに引き継ぐことが可能になります。若手医師が自身のキャリアアップに夢を持ち、安心して研鑽を積める「途切れのない支援」を実現します。

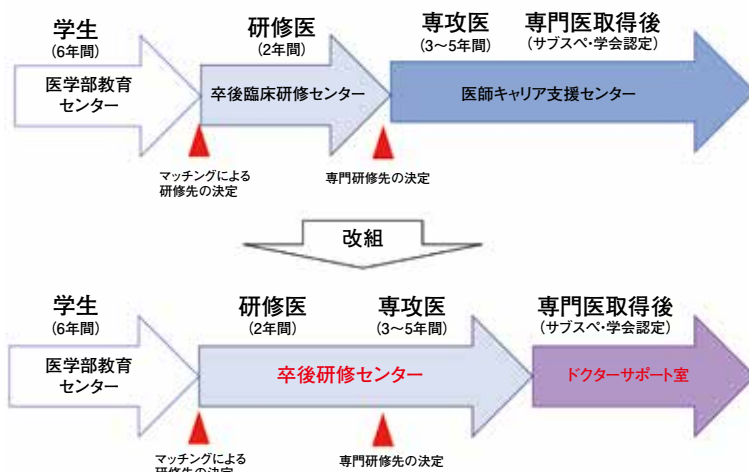
共に「次世代」を育てるために

2020年度の研修制度変更以降、看護師等を含む多職種による研修医評価が必須となりました。医師の育成は、もはや特定の部署だけでなく、病院全体のムーブメントとして全職員の関与が必要になっています。

また2025年10月より、杉元病院長率いる新執行部がスタートしました。「かだい病院に関わるすべての人を幸せにする」ことを目標に掲げ、未来の医療人の育成を重点課題の一つとしています。若手医師が地域医療の現場で「クリニカル・マインド、ティーチング・マインド、リサーチ・マインド」を養い、優れた臨床医へと成長できるよう、病院一丸となって支えていく必要があります。

2026年4月、新たなスタートを切る「卒後研修センター」が、本院、そして香川の医療の未来を照らす存在となるよう、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

組織体制の変更図



新任挨拶

香川県のこども達の笑顔のために

香川大学医学部附属病院 小児外科 診療科長 田中 彩

令和8年4月より小児外科診療科長を拝命いたしました。こどもが病気になって手術が必要な状況になることはお子さんやご家族にとって大変つらい状況です。私達小児外科医はそのようなこども達やご家族に寄り添いながら、高いレベルの医療を提供することを心がけています。赤ちゃんの時に手術をした患者さんが成長していく姿を見守っていくことは大きなやりがいでもとても嬉しいことです。成長していくこども達一人ひとりに適した最善の選択をしていきたいと思っています。

小児外科はあまり聞き慣れないかもしれませんが、こどもの手術をする診療科で、首からおしりまで色々な病気を扱っています。生まれてすぐの小さな赤ちゃんから、成長して成人した患者さんの治療にもあたっています。小児科・総合周産期母子医療センターと連携してチーム医療を実践しており、急患にも対応しています。香川県のこども



小児外科スタッフ

達が心身ともに健康に成長できるようにお手伝いをしていきたいと思っていますので、お気軽にご相談ください。

新任挨拶

香川大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長 見野 靖晃

令和8年5月1日付で薬剤部長を拝命いたしました、見野靖晃と申します。私は静岡県浜松市の出身で、静岡県立大学薬学部を卒業後、同大学院に進学し、浜松医科大学医学部附属病院薬剤部へ入職いたしました。前任職は同特任准教授・副薬剤部長でございます。

私の苗字を珍しいと感じられる方も多いかと思います。浜松に起源を持つ姓ではありますが、浜松でも珍しい部類に入るかと思います。

さて、病院薬剤部には従来の調剤・製剤業務に加え、近年では病棟薬剤業務や医薬品安全管理業務など、より幅広い医療への貢献が求められております。とりわけ大学病院は、地域医療の最後の砦として高度で専門的な医療を提供する役割を担っており、薬剤部もまた地域で最も高いレベルの薬物治療支援を提供する責務を負っています。地域の医療機関から信頼される「薬物療法の中核」として、質の高い薬剤業務を展開していくことが重要であると考えております。

病院経営の観点からも、予算の大きな割合を占める医薬品管理を担うことは大きな責務であり、同時に身の引き締まる思いでございます。この重責を喜びと受け止め、薬



剤部員一人ひとりと力を合わせながら、誠心誠意業務に取り組んでまいります。薬剤部全体が同じ方向を向き、互いに支え合いながら成長していける組織づくりにも努めてまいります。

また、業務面のみならず、教育・研究の面においても、これまでの経験を活かしながらしっかりと貢献していきたいと考えております。地域医療を支える薬剤師の育成、そして新たな知見の創出にも力を注いでまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

ケーブルTVで放送中

イキイキさめき健康塾
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

詳しくはこちら



6月のテーマ 「家族性高コレステロール血症」

7月のテーマ 「放っておいて大丈夫？ 脂肪肝の最新知識」

8月のテーマ 「気管支喘息の最新治療」

人を想う心を大切に、これからの看護へ

香川大学医学部附属病院 看護部長 森 郁代

令和8年4月より、医療の質管理担当副院長および看護部長を拝命いたしました。

看護部の理念である「患者さんの人権を擁護し、患者さんから信頼される看護の提供」を実現するため、私たちは高度で先進的な医療を担う医療チームの一員として、日々研鑽を重ね、質の高い看護の提供に努めています。

看護の原点は、いつの時代も“人”にあります。

看護師一人ひとりが持つ温かさや誠実さこそが、患者さんの安心につながり、地域の皆さまからの信頼を築く力に



なると考えています。引き続き、看護部および看護職員へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

新任挨拶

香川大学医学部附属病院 看護部 看護師長 大内 亜弓

このたび、令和8年4月より教育専従看護師を拝命いたしました。私は看護を行ううえで「相手の力を信じ、寄り添うこと」を大切にしています。これまで助産師として多くのお母さんやご家族に関わる中で、人が本来持つ力の大きさと、その力を支える関わり的重要性を学んでまいりました。今後はその経験を活かし、教育専従看護師として看護師一人ひとりに寄り添いながら、その成長を支えていきたいと考えています。現場で悩んだり迷ったりする時に、そっと背中を押せる存在でありたい—そんな思いで日々の教育に取り組んでいます。

当院では、新人看護師の研修や現場での学びのサポートに加え、看護師が生涯にわたり安心して学び、成長できる環境づくりにも力を入れています。看護師が日々の学びを大切にしながら患者さんと向き合えるよう支えること



が、より良い看護につながると考えています。

今後も、看護師一人ひとりの学びと成長を支え、看護の質向上に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

病院機能維持に貢献する

香川大学 医学部 事務部 施設課長 和泉 宏紀

令和8年4月より、施設課長を拝命しました和泉と申します。施設課は本年度より新設されました部署となります。私は、平成22年7月から平成25年3月までの間、医学部・病院で勤務していました。その後、他機関で勤務したのち、病院再開の整備中に大学本部に異動し、当該事業を担当しました。直近では、岡山大学で勤務しておりました。

施設課は、建物や設備の維持管理をはじめ、改修計画や病院機能を支えるインフラ基盤づくり等の業務をしています。日々、様々な課題が発生しますが、関係部署と連携しながら、安全かつ安定的に維持することを第一に、



施設課職員一体となって病院運営に貢献できればと考えております。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

卒後研修センターベスト指導医を表彰しました

香川大学医学部附属病院 卒後研修センター



石橋 尚弥 先生(左)

卒後研修センターの研修医によるベスト指導医の投票を行いました。第二回となる令和7年度ベスト指導医には、救命救急センターの石橋 尚弥(いしばし なおや)先生が選出されました。以下に投票のあった先生方をご紹介します。今後とも研修医へのご指導をよろしく願いいたします。

令和7年度 優秀指導医一覧

五十音順

石川 一朗	荻田 博也	喜多 誠	坂本 裕樹	高橋 幸稔	戸田 雄太	平場 優介	村尾 光優	山村健太郎
石田 智也	鎌田 英紀	絹笠沙耶香	寒川 泰	武田 敏宏	土肥洋一郎	福盛 勇介	室田真希子	横田 崇之
石橋 尚弥	川北 梨愛	楠目 直紀	品部 佑太	城妃 咲	野中和香子	三崎 伯幸	安田 真之	吉村 崇史
植村 直哉	川西 竜輔	蔵下 元気	末澤 優	田中 圭紀	原田 怜	水尾 杏海	山口幸之助	和田真優子
牛尾 友亮	喜田	小塚 和博	高場 啓太	田中 賢一	東谷 雅人	宮井 翔平	山名 浩喜	渡邊 直樹

令和8年度 新研修医をよろしく願いいたします!

香川大学医学部附属病院 卒後研修センター

今春、医科18名・歯科3名の新研修医を本院に迎えました。多職種スタッフのご協力の下、5日間のオリエンテーションでは、医療安全をはじめ、医療倫理、メンタルヘルス、医療保険制度、働き方等に関する講義を受講し、また採血等の実習にも積極的に取り組んでいました。

臨床研修において、厚生労働省が到達目標としている医師としてのプロフェッショナリズムは、社会的使命と公衆衛生への寄与、利他的な態度、人間性の尊重、自らを高める姿勢です。新研修医達は、これらの修得をめざし不安と緊張感を感じながらも、各病棟・診療科での研修をスタートしています。

現代の社会ニーズを踏まえ、地域社会に必要とされる医師の育成に引き続き取り組んでまいります。つきま



集合写真：令和8年度採用新研修医 2026年3月30日撮影

しては、皆さまにおかれましては、研修医育成へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新採用者を迎えて

香川大学医学部附属病院 看護部

令和8年4月に看護部は78名の新採用者を迎えました。それぞれの目標と希望を胸に、看護の第一歩を踏み出しています。慣れない環境の中で戸惑うこともあると思いますが、皆で温かく支えながら成長を支援してまいります。患者さん一人ひとりに寄り添い、信頼される看護をともに実践してまいりましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。



香川大学医学部附属病院特定基金が始まりました
地域医療の未来を守るために、温かいご支援をお願いいたします。

(ご寄附の使途)

- 外来・病棟の療養環境整備
- 救急・専門診療の体制強化
- 高度医療機器の更新・導入
- 臨床研究の推進



詳しくはこちら



編集委員会 (50音順)

(2026年3月現在)

岡内(外来)、尾崎(医事)、寒川(総務)、小坂(薬剤)、塩田(経営企画)、多田(検査)、田中(病棟)、筒井(医療支援)、保科(管理)、三宅(副病院長)、森(看護)、門田(放射線)、横井(医療情報)〔委員長 杉元病院長〕